

鐵道木下組 節中

會社側ニテリテハ二月七日船夫代表廣瀬吉吉高際秋郎等八
人ヲ「打續シ不況ト斗ヒ船夫ノ待遇維持ノ爲メ今シ来レル事
情ヲ述ヘ會社側トシテ讓歩ノ余地ナクハシテ二月十日迄承認
ノ有無ノ回答ヲ求メ之ニ處ヒリル。於テハ「各會員ノ解雇
費計ト」亦ハタリ回答臣報告書ヲ以テ右要求ニ處セルモ十日
午後六時船夫一同ハ會社ニ至リテ報告書ヲ提出シテ其ノ内容
ヲ承認シ難シト述ヘ且會社側カ交渉代表トシテ東京船船業組
合ヲ擇ヒタルモ之ヲ認メス。爲メ會社側ハ船夫側カ組合ニ交
渉ヲ委シタルト同一理由ナルヲ以テ甘ク譲ニ處シ難シト述ヘ
決裂

一 経 過

(1) 労働者側

労働者側ハ生活権ノ脅威ナリトシテ飢餓抗争ノ場ニ回リ垂組船

十日莫ク汝留取前川筋ニ集留シ要求ノ承認セラレサルニ及ヒ
テ汝留取地先会仙橋際傳馬船内ニ幸謀團本部ヲ設ケ組合ノ委
換ヲ得テ氣勢ヲ揚ケ二月七日午後五時頃組合常任柳素雄ハ
團員ト共ニ會社ニ至リ本月分社込金ノ貸與方ヲ迫リ拒絶セラ
ル、マ示威的行動ヲ為シ引揚ケ「麥飯」ニ至ル生きたばならぬ
労働條件ニ達スル一ツゴト。木下組幸謀團の元手と大家の手で
勝ちせう」等ノビラヲ撒布シ十五圓宛ヲ柱クルノ風ナク會
社ノ報告書ヲ二月十日會社ニ持参シ専務支配人等ト会見シテ
返答セリ

(2) 會 社 側

會社側ニアトテハ終末鐵道有リト枕木運搬請負ヲ爲シ居リタ
ルニ期間満了後経営難ニ陥リ遂ニ其ノ管ニホラタルモノニシ
テ讓歩ノ意毫モ有シ業ニ登シタル報告書ニ對シテハ絕對的ナ
リト爲シ既宜方針ヲ柱ケス且運賃激減ノ際トテ解ノ必要ナ